

市立若葉小学校のシミュレーション（第三版）

1 学校現況等

周辺環境：	甲州街道南側。狛江市境，第四中学校隣接，周辺住宅街
学校概要：	20 クラス，児童 620(見込み)人，都職員(教員・事務・栄養士) 30 人，市職員 5 人
教職員対応：	教職員自身の子どもの引き取り，家族救護等でやむを得ず 1 日目の終業時間後に帰宅することを想定する（40%減，30人→18人）なお，帰宅した職員については，各職場で事前に状況を把握し，交代で出勤する体制を組む。
学区人口：	昼間人口約 14,500 人，夜間人口約 15,500 人
収容可能人数：	一時収容 810 人，長期滞在 405 人（地域防災計画による）

2 想定される係〈全体責任者： 学校長●● 〉

児童対応班（責任者： 生活指導主任●● ）

○は係のリーダー

担 当	業 務 内 容	担当者
情報連絡係	人的・物的被害その他の異常事態を各係から報告を受け，学校長及び災害対策教育部へ連絡する。その他，災害に係る情報を収集し，関係者に連絡する。	○都事務 ・市事務 ・栄養士
避難誘導係	校庭（体育館）に避難誘導に当たる。広域避難所までの避難経路の確認を行う。児童の引渡しを行う。行方不明の児童の捜索を消火・巡視係に依頼する。	○理科専科 ・学級担任
消火・巡視係	校舎の被害の確認，行方不明の児童の捜索，初期消火，火元の遮断，出火防止対策，火災の警戒，ガス，水道等の元栓や理科薬品保管等の点検を行い，点検結果等を情報連絡係に連絡する。	○用務主事 ・都算数少人数担当
救護係	養護教諭を中心とする。救急薬品の確保，軽傷者への救急措置に当たる。重傷者については，応急手当を行い，災害対策本部，医療機関，医療救護所又は仮救護所に速やかに連絡をとるよう情報連絡係に指示する。心のケアへの対応をする。	○養護教諭 ・市算数少人数担任
搬出係	重要文書の搬出。校舎内での火災や校舎への延焼のおそれがある場合は，非常持ち出し品を搬出し，管理する。なお，非常持ち出し品を搬出する事態が生じない場合は，他の係への応援要員とする。	○教務主任 ・都事務 ・市事務 ・栄養士

避難所支援班（責任者： 副校長●● ）

担 当	業 務 内 容	担当者
総務・情報係	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営本部設置場所の決定 情報の収集，整理，確認及び伝達 避難者名簿の作成，整理，管理 	○生活指導主任 ・都事務 ・市事務
避難所係	<ul style="list-style-type: none"> 避難所に使用するスペース 避難者の誘導 ボランティアの組織化 	○用務主事 ・都算数少人数担任
物資係	<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄用品の管理，配給 救援物資の受入れ，整理，管理，配給 飲料水，生活用水の確保，配給 	○栄養士 ・音楽専科
救護・衛生係	<ul style="list-style-type: none"> 医療救護所設置場所の事前確認 医療救護所への協力（設置されない又は設置されるまで応急手当の実施） 	○養護教諭 ・市算数少人数担当

・仮設トイレの確保・設置 ・トイレ、ごみ集積場の清掃 ・PTSDへの対応	・トイレ用水の確保 ・衛生管理
--	--------------------

1日目

時間	状況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
11:24	多摩直下型震度7の地震発生。倒壊家屋多数。京王線運転見合わせ。市内全域で電気・ガス・上下水道供給停止。道路は通行不能又は渋滞	市民に対し、防災行政無線で、地震の情報、火の元の確認を周知する(総合防災安全課)	<p>〈学級担任〉</p> <p>① 児童に防災頭巾・軍手を付けさせ机の下へ避難など安全確保(1次避難)</p> <p>〈消火・巡視係〉</p> <p>① 給食調理員は、給食室の火気の安全を確認し所定の役割担当に従事</p> <p>② 学校周辺の火災発生の確認</p> <p>※学校長を学校災害本部長とし、生活指導主任を中心に学級担任で保護者の引き取りまで児童対応。避難所開設・運営は副校長を中心に、専科教員、市職員等で従事。</p>	<p>避難所運営</p> <p>→発災初期段階では、教職員が中心的な役割を担う。</p>
11:25	市内各駅、滞留者多数発生、負傷者も多数。市内で火災も発生	<p>① 来庁者の安全確保</p> <p>② 業務停止</p> <p>③ 総合防災安全課は初動本部立ち上げ</p>	<p>〈避難誘導係〉</p> <p>① 校庭に避難(2次避難)</p> <p>〈救護係〉</p> <p>① 児童の負傷状況の確認。応急処置</p> <p>役割分担の確認</p> <p>→学校は、児童の安全確保体制、避難所開設体制がとれるよう役割分担をしておく。</p> <p>実験用品等の管理</p> <p>→日頃から保管には、十分注意して管理する。</p>	<p>学校と地域</p> <p>→避難所運営は、避難者と四つ葉学校防災協議会の協力を得て実施。</p> <p>備蓄品と鍵の確認</p> <p>→日頃から教職員全員が備蓄品と備蓄庫(校庭南側・体育倉庫横)の鍵の所在を把握しておく。</p> <p>避難所レイアウト・教室使用計画表・案内板の掲示</p> <p>→事前準備してある避難所レイアウト・教室使用計画表・案内板を所定位置に掲示する。</p>
11:30		<p>① 庁内・各施設の安全確認</p> <p>② 市民を安全な場所に移動させる</p> <p>③ 災害対策教</p>	<p>トイレの問題</p> <p>→携帯トイレを使用。組み立てトイレはプール北側の池周辺に設置。汚物は収集車が入れる場所に一時保管。</p>	<p>教室等使用計画案</p> <p>体育館(一般避難所)</p> <p>校長室(情報収集、発信室)</p> <p>応接室(避難所運営本部、打ち合わせ室、本部員宿泊室)</p> <p>職員室(教職員宿泊室)</p> <p>保健室(救護室、負傷者待機場所)</p> <p>ユーフォー(妊婦・乳幼児避難所)</p> <p>和室(高齢者・障害者避難所)</p> <p>家庭科室(物品保管所)</p> <p>プール更衣室(一時遺体安置所)</p>

11:40		<p>育部設置</p> <p>①市民に対し、防災行政無線で、避難所開設を周知する（総合防災安全課）</p>	<p><消火・巡視係></p> <p>①校舎・教室等の安全確認後、使用不可の教室がある場合にはその旨掲示。その後児童は教室に移動。専科教員は、割れたガラス等を除去する。</p> <p><情報連絡係：副校長></p> <p>①災害ダイヤル、学校HP掲示板、学校安全安心メールで災害保護者に対し児童の状況報告と引き取り依頼（<u>非常電源利用</u>）</p>	<p>給食室（調理，給食） 四中第1活動室（医療救護所） 四中図書室（四つ葉学校防災全体打合せ）</p> <p><避難所係></p> <p>①避難者が駆け付け始まる。 ②四つ葉学校防災の方が数人到着</p> <p>共通課題 →災害備蓄倉庫に2リットルペットボトルを保管。今後学校で保管可能か検討。受水槽の水の確保（給食室、トイレ用）。トイレは流さない。蛇口は開栓しない。</p>
11:45			<p>共通課題 →避難者の靴の保管のためのビニール袋を備蓄品に追加する必要あり。</p>	<p><避難所係></p> <p>①避難者を体育館に移動させる。 ②要援護者の避難場所の整備</p> <p>情報収集 →備蓄倉庫からラジオを取りだし、情報収集する（調布FM83.8MHz）</p>
12:00			<p><避難所誘導係：学級担任></p> <p>保護者への引渡し始まる →児童の引渡しは、<u>原則各教室で、学級担任が責任をもって行う。</u></p>	
12:25		<p>①災害対策教育部から避難所運営責任者を派遣</p>	<p>共通課題 →負傷者の対応は養護教諭だけでは不可能</p>	<p><救護・衛生係></p> <p>①ケガ人の応急処置を保健室で養護教諭が対応。 ②避難者700人</p>
12:30		<p>①市災対本部設置（総合防災安全課）</p>	<p>共通課題 →指定の医療救護所（第四中学校）への搬出方法（重傷者は杏林大学病院，慈恵大学第三病院へ）</p>	<p><総務・情報係></p> <p>①災対教育部に現状報告（副校長）</p> <p>第1次地域応援体制づくり（四つ葉学校防災協議会の方々と相談する）</p>
12:35		<p>①災害対策教育部職員到着</p>	<p>避難所の運営について協議 →学校長，避難所運営責任者，避難者，四つ葉学校防災協議会の方々と協議。副校長は避難所運営責任者と引き継ぎを行う。</p>	<p>①災害対策教育部職員は，学校と協力して避難所運営に当たる</p>

13:00		① 第四中または都立神代高校へ避難誘導開始	<p>〈物資係〉 ① 児童に水を提供 (可能なら給食、牛乳提供)</p> <p>若葉小学校の代替施設 → 第四中に余裕があれば第四中へ、そのほか都立神代高校へ誘導</p> <p>〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告</p> <p>学校から災害対策教育部へ報告 → 防災行政無線で、児童の状況・避難者数(男女別)・負傷者数を 15:00, 17:00, 19:00, 21:00 (避難所運営責任者担当)</p>	<p>〈避難所係〉 ① 避難者 850 人。若葉小学校避難所満員。 ② これ以降、他の施設への誘導を災害対策本部に連絡。</p> <p>〈物資係〉 ① 避難者に水を提供</p> <p>〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 災対教育部に現況報告(避難所責任者)</p> <p>情報提供(随時) → 避難者に対して、ラジオ)や掲示板で情報提供(調布FM 83.8MHz)</p> <p>共通課題 → 学校医の協力確保</p>
13:30		① 市災害対策本部から職員5人派遣	① 児童引き取り率 5%	<p>〈救護・衛生係〉 ① 避難所で死亡者発生。 毛布で包みプール女子更衣室で一時保管</p>
13:50		① 災害対策教育部職員到着	<p>共通課題 → 停電が継続した場合、懐中電灯では光源の確保が厳しい。投光機やランタン型懐中電灯の備蓄</p>	① 災害対策教育部職員は、学校と協力して避難所運営に当たる。
14:50		① 市職員到着		<p>〈市職員〉 ① 到着した市職員は、避難所運営に従事 ② 市職員は、プール北側の池の周辺に組立トイレ設置</p>
14:55				
15:00	震度5弱の余震発生	① 市災対本部招集(総合防	<p>〈学級担任〉 ① 児童に防災頭巾・軍手を付</p>	<p>〈避難所係〉 ① 避難者の安全確認</p>

16:00	<p>災安全課)</p>	<p>けさせ机の下へ避難など安全確保（1次避難）</p> <p>〈情報連絡係〉</p> <p>校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告</p>	<p>〈総務・情報係〉</p> <p>避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告</p> <p>災対教育部に現況報告（避難所責任者）</p> <p>〈市職員，物資係〉</p> <p>①備蓄倉庫の中の確認と使うと想定される物を外に出す。</p>	<p>共通課題</p> <p>→パール・ジャッキなどの工具類も救助活動に必要</p> <p>共通課題</p> <p>→備蓄倉庫の中は暗く、入り口に照明がないと物資の確認が難しい。</p> <p>共通課題</p> <p>→煮炊きできない場合は、アルファ米は水で作る。その場合は早めの準備が必要</p> <p>①地域の方々と学校医到着</p> <p>第2次地域応援体制づくり（四つ葉学校防災協議会の方々と協力体制をつくる）</p>
17:00		<p>①児童引き取り率 20%</p> <p>②教員は自分の子供の引き取り，家族介護等で 40%帰宅</p> <p>〈情報連絡係〉</p> <p>校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告</p>	<p>〈物資係〉</p> <p>①食事提供の準備</p> <p>〈総務・情報係〉</p> <p>避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告</p> <p>災対教育部に現況報告（避難所責任者）</p>	<p>〈物資係〉</p> <p>①避難者 700 人に食事・水を提供（残 4750 食）</p> <p>避難者名簿作成</p> <p>→避難者に名簿記入してもらう</p>
17:30		<p>〈物資係〉</p> <p>①児童 496 人（80%）に食事・水を提供</p> <p>地域の協力</p> <p>→地域の協力を得て，食事の提供</p>	<p>〈物資係〉</p> <p>①避難者名簿の作成</p> <p>〈物資係〉</p> <p>② 毛布等の提供（備蓄 400 枚）</p>	<p>共通課題</p> <p>→備蓄毛布の不足が見込まれる。災害対策備蓄倉庫から搬入（災対市民部，災对生活文化スポーツ部）</p>
18:30		<p>①市災対本部招集（総合防災安全課）</p>	<p>①児童引き取り率 40%</p> <p>〈情報連絡係〉</p> <p>校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告</p>	<p>〈総務・情報係〉</p> <p>避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告</p> <p>災対教育部に現況報告（避難所責任者）</p>
21:00				

22:00			〈救護・衛生係, 避難所係〉児童・避難者の健康状態の確認	
			①児童引き取り率50% ②児童310人教室に宿泊 ③教職員交代で2時まで仮眠	①避難者600人宿泊 ②市職員と地域の方交代で2時まで仮眠
			※ プール水は, 火災発生の場合消火活動用を使う場合がある	

2日目

時間	状況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応	
2:00	24時間経過		①教職員交代で仮眠 ①児童引き取り率60%	①市職員と地域の方交代で仮眠	
9:00			〈救護・衛生係, 避難所係〉児童・避難者の健康状態の確認		
10:00			〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者) ① 総合体育館へ遺体の搬出	
			共通課題 →遺体を総合体育館への運搬体制(災害対策福祉健康部福祉班が担当)	備蓄品の補充 市災害備蓄倉庫から補充する(災害対策市民部, 生活文化スポーツ部が輸送担当)	
11:00			〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	〈物資係〉 ①食事提供の準備 〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者)	
11:24					
11:30			〈物資係〉 ①児童248人に食事と水を提供	〈物資係〉 ①避難者500人に食事・水を提供(残3950食)	
17:00			①児童引き取り率70% 〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者)	
17:30			〈物資係〉 ①児童186人に食事と水を提供	〈物資係〉 ①避難者450人に食事・水を提供(残3260食)	
21:00			①市災対本部招集(総合防災安全課)	〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者)

22:00			者)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <救護・衛生係, 避難所係> 児童・避難者の健康状態の確認 </div>			
		①児童引き取り率 80% ②児童 124 人宿泊 ③教職員交代で 2 時まで仮眠	①児童 124 人(20%の児童は保護者 負傷等迎えに来られず)避難者 450 人 ②児童 124 人(20%の児市職員と地 域の方交代で 2 時まで仮眠

3日目

時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
2:00			① 交代で仮眠	① 交代で仮眠
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <救護・衛生係, 避難所係> 児童・避難者の健康状態の確認 </div>				
9:00			<情報連絡係> 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	<総務・情報係> 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者) 児童 124 人(20%の児童は保護者 負傷等迎えに来られず)避難者 450 人
11:00			<情報連絡係> 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	<物資係> ①食事提供の準備 <総務・情報係> 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者)
11:24	48 時間経過			
11:30			<物資係> ①児童 124 人に食事と水を提供	<物資係> ①避難者 450 人に食事・水を提供 (残 2630 食)
13:00			<情報連絡係> 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	<総務・情報係> 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者)
15:00			<情報連絡係> 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	<総務・情報係> 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者)
17:00			<情報連絡係> 校長または副校長は避難所責任者に児童の状況を報告	<物資係> ①食事提供の準備

17:30			任者に児童の状況を報告 〈物資係〉 ①児童 62 人に食事と水を提 供 〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況 を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任 者) 〈物資係〉 ①避難者 450 人に食事・水を提供 (残 2060 食) 〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況 を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任 者)
19:00				
21:00		①市災対本部 招集(総合防 災安全課)	〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況 を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任 者)
22:00			〈救護・衛生係, 避難所係〉 児童・避難者の健康状態の確認	
			①児童引き取り率 90% ②児童 62 人宿泊 ③教職員交代で 2 時まで仮眠	①児童 62 人(保護者負傷等で迎え に来られず)避難者 450 人 ②市職員と地域の方交代で 2 時ま で仮眠

4日目

時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
2:00			①交代で仮眠	①交代で仮眠
			〈救護・衛生係, 避難所係〉 児童・避難者の健康状態の確認	
9:00		①市災対本部 招集(総合防 災安全課)	〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況 を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任 者) 児童 65 人(10%の児童は保護者負 傷等迎えに来られず)避難者 500 人
11:00			〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告	〈物資係〉 ①食事提供の準備 〈総務・情報係〉 避難者数・負傷者数の避難者の状況 を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任 者)
11:24	72 時間経過			

※四つ葉学校防災協議会（若葉小・第四中学校・地域）が中心となり、避難所運営をする。

※若葉小学校の課題

収容人員いっぱいの場合，第四中学校または都立神代高校に誘導する。両校ともいっぱいの場合には災害対策本部の指示に従う。

〈付図〉

資料 1：避難所レイアウト図 資料 2：教室使用案内図 資料 3：案内板等掲示位置図